

平成23年度 府立福知山高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>府民の期待に応える学校づくりの推進</p> <p>1 「知・徳・体」の調和の取れた生徒の育成</p> <p>2 「個を活かし、公に生きる」生徒の育成</p> <p>3 「学力の向上」と「希望進路の実現」の達成</p>	<p>(成果)</p> <p>1 国公立大学及び難関大学の合格者数においては、昨年度に一步及ばなかったが、今後続くほぼ安定した進路実績を残すことができた。</p> <p>2 平成22年度「学力向上フロンティア校」支援事業に係る各種取組を展開することにより、普通科生徒の表現力、思考力の向上を図ることができた。</p> <p>3 生徒指導に係る組織的、継続的な指導により、規範意識や挨拶、通学マナー等に係る外部評価に大きな変化が見られた。</p> <p>4 ボランティアバンク登録生徒数及び年間の活動回数が飛躍的に伸び、生徒の内面にボランティアに対する意識が確実に根付いてきている。日常生活における様々な善行に対して市民の方々から感謝の声が多く寄せられた。</p> <p>5 体系的な各種広報活動と中学校の御理解、御協力により、生徒募集にさらに勢いを増すことができた。</p> <p>(課題)</p> <p>1 各取組に係る教育効果の検証とそれぞれの取組に関して改善・整理・統合の観点から見直しが必要である。</p> <p>2 分掌や会議のメンバーどうしの連携や協働体制には改善の余地があり、学校組織としての在り方について検討したい。</p> <p>3 OJTの意識の定着については、不十分な面がある。優れた教科指導力を共有するなど本校が有する人的資源を最大限に活用し、強固な組織として成長したい。</p> <p>4 1年生普通科第Ⅱ類の学習指導について高い満足度が得られたが、第Ⅰ類・第Ⅱ類の枠が取り払われる新教育システムの導入を前にさらに質の向上を図りたい。</p> <p>5 文理科学科の研究活動にグループ研究を取り入れ、京都大学との連携の下、研究レベルに質的変革をもたらしたい。</p> <p>6 お知らせメールの活用やホームページの更新が不十分で、生徒の活躍や学校の様子を十分に発信できなかった。</p>	<p>1 学力の向上と希望進路の実現</p> <p>(1) 各教科で生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的に進め、全ての生徒の希望進路を実現することを最大の目標とする。</p> <p>(2) 主体的な学習態度並びに思考力、判断力、表現力の育成の観点から、日々の演習等について見直しを行う。</p> <p>(3) 新学習指導要領の円滑な実施に向けた校内体制の整備に努める。</p> <p>2 普通科の活性化と文理科学科の充実</p> <p>(1) 平成23年度「学力向上フロンティア校」支援事業により多様な企画を展開し、着実な学力向上と進路意識の高揚に努め、普通科全体の活性化を図る。</p> <p>(2) 文理科学科の教育活動内容のさらなる充実を図り、それを生かした希望進路の実現に努める。また、文理科学科の取組を中学校や地域に積極的に広報し、その趣旨を理解した意欲的な生徒の入学に努める。</p> <p>3 豊かな心を育む教育の実現</p> <p>自他の敬愛の心と公共心や社会貢献を育み、共生社会に必要な力を育成する。</p> <p>具体的には、</p> <p>(1) 主体的な学習態度で、勉学に励む生徒</p> <p>(2) 礼儀正しく、挨拶のできる生徒</p> <p>(3) 部活動を頑張り、規律ある生活が送れる生徒</p> <p>(4) 愛校心のある生徒</p> <p>の育成を目指す。</p> <p>4 OJTの充実</p> <p>教職員の資質・能力の向上及び組織としての学校の教育力を高めるといった観点からOJTの意識の定着を図る。</p> <p>5 適正な学校運営と安心・安全の学校づくり</p> <p>全教職員が危機意識を持ち、日々の点検に努め、適正な学校運営にあたるとともに、危機管理体制を確立し、安心・安全な学校を作る。</p> <p>6 家庭・地域・関係機関との連携の強化</p> <p>積極的に家庭連絡・家庭訪問を行うなど、家庭との連携を密にし信頼関係を築く。また中学校や地域等へ本校の教育方針を理解してもらうための取組を一層推進する。</p> <p>さらに、関係機関との連携・協働により、一層の教育効果の向上に努める。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題														
組織・運営	<p>次年度の新教育システムの導入を視野に入れ、習熟度別講座の充実を図る。</p>	<p>・2年生普通科第Ⅱ類（理数系）に設置した習熟度別講座において、充実した学習指導を展開する。 [教・英・理における学習指導に対する満足度]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>86%以上</td> <td>85%～80%</td> <td>79%～75%</td> <td>75%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満								
	A	B	C	D														
	86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満														
<p>組織力のさらなる強化の観点から昨年度に引き続きOJTに取り組む。</p>	<p>・職務遂行及び教科指導方法の共有の面で、常にOJTを意識し、分掌及び教科内での連絡や情報交換を活発に行い、強固な組織を構築する。 [分掌及び教科において、OJTにより組織力強化を実感した割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>86%以上</td> <td>85%～80%</td> <td>79%～75%</td> <td>75%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満									
A	B	C	D															
86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満															
<p>日々の演習の在り方について見直しを行い、自立的学習に向けての支援を行う。</p>	<p>・日々の演習の見直しを行った、本校にとって新たな学習指導を通して、日々の演習実施時以上の学習効率を実感させる。 [新たな学習指導による学習効率の向上(2年生)]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>86%以上</td> <td>85%～80%</td> <td>79%～75%</td> <td>75%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満									
A	B	C	D															
86%以上	85%～80%	79%～75%	75%未満															
教務部	<p>生徒の学力の向上に資するために、授業の質の向上を図る。</p>	<p>・研究授業、公開授業により、授業の質の向上を図る。 [実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>30回以上</td> <td>29～25回</td> <td>24～20回</td> <td>19回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	30回以上	29～25回	24～20回	19回以下								
		A	B	C	D													
	30回以上	29～25回	24～20回	19回以下														
<p>・「わかる授業」、「伸ばす授業」の実践を促す。 [生徒満足度が5段階で4以上の教員数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>30名以上</td> <td>29～25名</td> <td>24～20名</td> <td>19名以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	30名以上	29～25名	24～20名	19名以下										
A	B	C	D															
30名以上	29～25名	24～20名	19名以下															
<p>基礎学力の定着や欠課時数過多生徒に対する指導により、単位の不認定をなくす。</p>	<p>・成績不良による単位不認定者を出さない指導を行う。 [単位不認定科目数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0科目</td> <td>1科目</td> <td>2科目</td> <td>3科目以上</td> </tr> </table> <p>・10%、15%指導により、20%超過による単位の不認定をなくす。 [年度末の20%超過科目数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0科目</td> <td>1科目</td> <td>2科目</td> <td>3科目</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0科目	1科目	2科目	3科目以上	A	B	C	D	0科目	1科目	2科目	3科目	
A	B	C	D															
0科目	1科目	2科目	3科目以上															
A	B	C	D															
0科目	1科目	2科目	3科目															

生徒指導部

安定した学校生活が進路実現につながるという観点から、規範意識の向上を図る。

・頭髪、服装、遅刻等に関する規範意識を向上させる。

[生徒指部長注意以上の年間指導件数]

A	B	C	D
10件未満	10～15件	16～20件	21件以上

・交通安全に関する規範意識を向上させる。

[アンケートによる生徒の規範意識向上実感度]

A	B	C	D
90%以上	89%～80%	79%～70%	70%未満

みらいに貢献できる人材を育成する観点から、「知・徳・体」の調和の取れた人格を育成する。

・豊かな高校生活を営むため、部活動の加入率を上昇させる。

[新入生部活動加入率]

A	B	C	D
90%以上	89%～85%	84%～80%	80%未満

・視野を拡大させるとともに生き方や適性について考える機会としてボランティア活動を推進する。

[年間3回以上のボランティア活動参加人数]

A	B	C	D
50人以上	49～40人	39～30人	29人以下

自己のみらいを切り開くことができる、感性豊かな人間性を育成する。

・生徒会の活性化を図り、新規企画を実践する。

[新規企画数]

A	B	C	D
10回以上	9～7回	6～4回	3回以下

・校歌を歌うことのできる生徒を増やす。

[生徒の校歌に対する意識向上率]

A	B	C	D
90%以上	89%～80%	79%～70%	70%未満

進路指導部

1、2年生の進路に対する意識を向上させ、目的意識をもって学習し、基礎学力を充実させるよう指導する。

・総務企画部と連携して進路目標設定を促進する取組を展開し、スムーズに受験勉強へ移行させる。

[2年生3学期進路希望調査未定者数]

A	B	C	D
0名	1～5名	6～10名	11名以上

・各休業中の進学講習を実施し、将来の受験に対応できる学力と意識を高める。

[1年生進研記述模試の7月から11月にかけての平均偏差値が55を超える生徒の増加人数]

A	B	C	D

		<table border="1"> <tr> <td>31名以上</td> <td>30～21名</td> <td>20～11名</td> <td>10名以下</td> </tr> </table> <p>[2年生進研記述模試の7月から11月にかけての平均偏差値が55を超える生徒の増加人数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>16名以上</td> <td>15～11名</td> <td>10～5名</td> <td>4名以下</td> </tr> </table>	31名以上	30～21名	20～11名	10名以下	A	B	C	D	16名以上	15～11名	10～5名	4名以下														
31名以上	30～21名	20～11名	10名以下																									
A	B	C	D																									
16名以上	15～11名	10～5名	4名以下																									
	<p>3年生の進路希望に応じた指導を行い、目的達成のための支援を行う。</p>	<p>・センター試験対策演習と「にじゼミ」を充実させ、受験に対応した学力を向上させる。 [センター試験5教科受験者得点率70%を超える生徒数の割合]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>50%以上</td> <td>49%～40%</td> <td>39%～30%</td> <td>30%未満</td> </tr> </table> <p>[国公立大学延べ合格者数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90名以上</td> <td>89～80名</td> <td>79～70名</td> <td>69名以下</td> </tr> </table> <p>・推薦入試、特に国公立大学推薦入試受験生徒に対する小論文指導、面接指導を計画的に行い、合格率を上げる。 [国公立推薦入試合格率]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>60%以上</td> <td>59%～50%</td> <td>49%～40%</td> <td>40%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	50%以上	49%～40%	39%～30%	30%未満	A	B	C	D	90名以上	89～80名	79～70名	69名以下	A	B	C	D	60%以上	59%～50%	49%～40%	40%未満		
A	B	C	D																									
50%以上	49%～40%	39%～30%	30%未満																									
A	B	C	D																									
90名以上	89～80名	79～70名	69名以下																									
A	B	C	D																									
60%以上	59%～50%	49%～40%	40%未満																									
保健部	<p>健やかな学校生活を送るために、生徒に自らの健康に対する意識を向上させる。</p>	<p>・3年生予防接種の受診率の向上を図る。 [麻しん風しん予防接種率]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90%以上</td> <td>89%～80%</td> <td>79%～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89%～80%	79%～70%	70%未満																		
	A	B	C	D																								
	90%以上	89%～80%	79%～70%	70%未満																								
<p>環境問題に関心を持たせ、環境に対する豊かな感受性と環境に配慮した考え、行動ができる態度の育成に努める。</p>	<p>・地元地域での環境に関心を持ち、地域の美化に貢献する態度を養う。 [郊外清掃実施回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>5回</td> <td>4、3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	5回	4、3回	2回以下																			
A	B	C	D																									
6回以上	5回	4、3回	2回以下																									
<p>危機管理意識を持ち、安心安全な学校作りに努める。</p>	<p>・事故、災害状況便りを定期的に発行し、けが防止の啓発に努める。 [事故・災害便りの発行回数]</p> <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>12回以上</td> <td>11、10回</td> <td>9、8回</td> <td>7回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	12回以上	11、10回	9、8回	7回以下																			
A	B	C	D																									
12回以上	11、10回	9、8回	7回以下																									
総務企画部	<p>学力向上フロンティア校支援事業に係る取組、並びにキャリア教育を計画的に実施し、着実な学力向上と進路意</p>	<p>・事業計画書に基づき、取組を具体化することにより、学力向上に努める [模試や実力テストの平均偏差値の伸び率]</p>																										

	<p>識の高揚に努める。</p>	<table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>0.7P以上</td><td>0.7~0.6P</td><td>0.5~0.3P</td><td>0.3P未満</td></tr> </table> <p>・キャリア教育やみらい考の取組を通して生徒一人一人の進路に対する意識の高揚を図る。 [2年生終了時における進路希望先決定率]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>91%以上</td><td>90%~81%</td><td>80%~75%</td><td>75%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	0.7P以上	0.7~0.6P	0.5~0.3P	0.3P未満	A	B	C	D	91%以上	90%~81%	80%~75%	75%未満			
A	B	C	D																		
0.7P以上	0.7~0.6P	0.5~0.3P	0.3P未満																		
A	B	C	D																		
91%以上	90%~81%	80%~75%	75%未満																		
	<p>各分掌や学力向上コンテナー推進委員との連携を強化し、取組の円滑な運営に努めると共に、外部発信を積極的にを行い生徒募集を強化する。</p>	<p>・分掌会議並びに各分掌との会議を定期的に行い共通理解と組織的な運営を図ると共に、OJTの充実に寄与する。 [各分掌、分掌内の連携会議]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>46回以上</td><td>45~36回</td><td>35~26回</td><td>25回以下</td></tr> </table> <p>・お知らせメールやホームページ、福高だより等を外部発信の手段として有効に活用する。 [発行回数]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>31回以上</td><td>30~21回</td><td>20~16回</td><td>15回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	46回以上	45~36回	35~26回	25回以下	A	B	C	D	31回以上	30~21回	20~16回	15回以下			
A	B	C	D																		
46回以上	45~36回	35~26回	25回以下																		
A	B	C	D																		
31回以上	30~21回	20~16回	15回以下																		
<p>人権教育部</p>	<p>様々な人権問題について正しい理解や認識を深め、人権尊重の実践的態度を養う。</p>	<p>・学年部や他分掌と連携を深め、人権学習の教材や指導方法の改善に努める。 [人権教育推進会議の定例化]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>5回以上</td><td>4、3回</td><td>2回</td><td>1回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	5回以上	4、3回	2回	1回以下											
A	B	C	D																		
5回以上	4、3回	2回	1回以下																		
	<p>各種援護制度の紹介と活用を図り、就修学の保障に努める。</p>	<p>・援護制度について、広報や説明会を充実し、援護制度の周知に努める。 [お知らせメールの活用回数]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>10回以上</td><td>9~7回</td><td>6、5回</td><td>4回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	10回以上	9~7回	6、5回	4回以下											
A	B	C	D																		
10回以上	9~7回	6、5回	4回以下																		
	<p>教職員の人権意識の高揚を図り指導力の向上に努める。</p>	<p>・教職員研修を充実し、教職員の指導力の向上に努める。 [教職員研修の回数]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>3回以上</td><td>2回</td><td>1回</td><td>0回</td></tr> </table>	A	B	C	D	3回以上	2回	1回	0回											
A	B	C	D																		
3回以上	2回	1回	0回																		
<p>文理科学科推進部</p>	<p>「みらい学」を中心とする文理科学科の教育活動内容を検証し、さらなる充実を図る。</p>	<p>・文理科学科の教育活動のさらなる充実を目指し、改善を図る [取組改善数]</p> <table border="1"> <tr><th>A</th><th>B</th><th>C</th><th>D</th></tr> <tr><td>7件以上</td><td>6、5件</td><td>4、3件</td><td>2件以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	7件以上	6、5件	4、3件	2件以下											
A	B	C	D																		
7件以上	6、5件	4、3件	2件以下																		
	<p>文理科学科の海外研修旅行の充実</p>	<p>・中国研修旅行を、研究活動を充実させる手段と</p>																			

	を図る。	して有効に活用する。 [研修旅行満足度] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>90%以上</td><td>89%~80%</td><td>79%~70%</td><td>70%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89%~80%	79%~70%	70%未満											
A	B	C	D																		
90%以上	89%~80%	79%~70%	70%未満																		
図書視聴覚部	読書活動を通して読書の3つの力 (豊かな表現力・感性を磨く力・知識に裏付けられた判断力)を育成する。	・年間を通して読書活動を推進する企画展示、啓発を積極的に推進する。 [読書活動推進企画数] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>46回以上</td><td>45~36回</td><td>35~26回</td><td>25回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	46回以上	45~36回	35~26回	25回以下											
	A	B	C	D																	
46回以上	45~36回	35~26回	25回以下																		
	保護者、地域、中学生から信頼される広報活動に取り組む。	・ホームページの既存項目の更新以外に、新規項目の追加に取り組む。 [追加の新規項目数] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>8種以上</td><td>6、7種</td><td>4、5種</td><td>3種以下</td></tr> </table> ・お知らせメールの内容を充実させ、保護者の登録率を上昇させる(4月15日現在75%) [登録率] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>96%以上</td><td>95~86%</td><td>85~75%</td><td>75%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	8種以上	6、7種	4、5種	3種以下	A	B	C	D	96%以上	95~86%	85~75%	75%未満			
A	B	C	D																		
8種以上	6、7種	4、5種	3種以下																		
A	B	C	D																		
96%以上	95~86%	85~75%	75%未満																		
事務部	安心・安全な教育環境を保持する。	・定期的な安全点検を実施する。 <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>12回以上</td><td>11、10回</td><td>9、8回</td><td>7回以下</td></tr> </table>	A	B	C	D	12回以上	11、10回	9、8回	7回以下											
	A	B	C	D																	
12回以上	11、10回	9、8回	7回以下																		
	学校予算を効率的に執行する。	・予算のヒアリングを実施し、予算面で支援する。 <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>90%以上</td><td>89%~80%</td><td>79%~60%</td><td>60%未満</td></tr> </table>	A	B	C	D	90%以上	89%~80%	79%~60%	60%未満											
A	B	C	D																		
90%以上	89%~80%	79%~60%	60%未満																		
第1学年部	生活と学習における基礎基本の徹底を図る。	・「日々の演習」を通じて、家庭学習習慣の確立と基礎学力の定着を図る。 [「日々の演習」の年間提出率] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>91%以上</td><td>90~86%</td><td>85~80%</td><td>80%未満</td></tr> </table> ・挨拶や頭髪服装、遅刻防止等の徹底に向けた指導を徹底する。 [年間遅刻指導延べ人数] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> <tr><td>0人</td><td>1~3人</td><td>4、5人</td><td>6人以上</td></tr> </table>	A	B	C	D	91%以上	90~86%	85~80%	80%未満	A	B	C	D	0人	1~3人	4、5人	6人以上			
	A	B	C	D																	
91%以上	90~86%	85~80%	80%未満																		
A	B	C	D																		
0人	1~3人	4、5人	6人以上																		
	豊かな人間性の育成に努める。	・部活動の加入とボランティア活動への積極的な参加を促す。 [部活動加入率] <table border="1"> <tr><td>A</td><td>B</td><td>C</td><td>D</td></tr> </table>	A	B	C	D															
A	B	C	D																		

		<table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>89～85%</td> <td>84～80%</td> <td>80%未満</td> </tr> </table> [ボランティアへの年間のべ参加人数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>90人以上</td> <td>89～80人</td> <td>79～70人</td> <td>69人以下</td> </tr> </table> ・クラス及び学年の委員会活動を活用し、生徒自らが積極的に参画できる学校行事やホームルーム活動の運営をする。 [福高祭に対する満足度] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>95%以上</td> <td>94～90%</td> <td>89～85%</td> <td>85%未満</td> </tr> </table>	90%以上	89～85%	84～80%	80%未満	A	B	C	D	90人以上	89～80人	79～70人	69人以下	A	B	C	D	95%以上	94～90%	89～85%	85%未満		
90%以上	89～85%	84～80%	80%未満																					
A	B	C	D																					
90人以上	89～80人	79～70人	69人以下																					
A	B	C	D																					
95%以上	94～90%	89～85%	85%未満																					
	自己の生き方や進路意識の喚起を図る。	・面談を積極的に行い、「みらい考」・「みらい学」を活用して進路意識を喚起する。 [年間面談回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>6回以上</td> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	6回以上	5回	4回	3回以下														
A	B	C	D																					
6回以上	5回	4回	3回以下																					
第2学年部	基本的な生活習慣を身につけさせ、社会人としての資質を養う。	・時間厳守、服装、挨拶やマナー、掃除の徹底等について、学年部全体で繰り返し指導を行う。 [年間掃除補充対象者数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1、2人</td> <td>3、4人</td> <td>5人以上</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0人	1、2人	3、4人	5人以上														
	A	B	C	D																				
0人	1、2人	3、4人	5人以上																					
	学力の伸長と希望進路の実現を目指す。	・授業を大切にするとともに自ら学ぶ姿勢を養い、基礎学力の定着と伸長を図る。 [各学期末における成績不良者数(延べ)] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>0人</td> <td>1～3人</td> <td>4～9人</td> <td>10人以上</td> </tr> </table> ・進路指導部や総務企画部と連携し、具体的な進路目標を明確にさせ、オープンキャンパス等への参加を促す。 [オープンキャンパス、説明会参加者数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>181人以上</td> <td>180～121</td> <td>120～60</td> <td>59人以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	0人	1～3人	4～9人	10人以上	A	B	C	D	181人以上	180～121	120～60	59人以下						
A	B	C	D																					
0人	1～3人	4～9人	10人以上																					
A	B	C	D																					
181人以上	180～121	120～60	59人以下																					
第3学年部	希望進路の実現を目指す。	・1学期中に、すべての生徒が具体的な希望進路を決定し、具体的かつ主体的な受験計画を立てる。 [希望進路未決定者数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>5人以下</td> <td>6～10人</td> <td>11～19人</td> <td>20人以上</td> </tr> </table> ・各分掌、各教科と連携し、生徒一人一人に応じたきめ細かな指導を行う。	A	B	C	D	5人以下	6～10人	11～19人	20人以上														
A	B	C	D																					
5人以下	6～10人	11～19人	20人以上																					

		[学年平均面談回数]																		
		A	B	C	D															
		8回以上	6、7回	4、5回	3回以下															
国語科	<p>学習に対する強い意欲を持ち、自主的に学ぶことのできる生徒を育てる。</p> <p>・1年次においては、「日々の演習」をはじめとする課題の配布や確認テスト等の実施を積極的に行い、学習習慣と基礎学力の定着を図る。 2年次以降については、課題や小テストの内容を工夫し、自ら学んだ成果をテストで確認させる。その結果、最後まで学力を伸ばすことのできる実力を涵養する。</p> <p>[センター試験平均点の対全国比較]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20点以上</td> <td>19～10点</td> <td>9～0点</td> <td>平均以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>・日本漢字能力検定の受検を奨励する。</p> <p>[準2級以上の1回あたりの受検者数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>40人以上</td> <td>39～35人</td> <td>34～30人</td> <td>29人以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	20点以上	19～10点	9～0点	平均以下	A	B	C	D	40人以上	39～35人	34～30人	29人以下			
	A	B	C	D																
20点以上	19～10点	9～0点	平均以下																	
A	B	C	D																	
40人以上	39～35人	34～30人	29人以下																	
	<p>生徒の興味関心を引き出し、学習意欲を高めることのできる授業を目指し、工夫と改善に努める。</p> <p>・定期的な教科内会議や研究授業を積極的に行う。また、各教員の持つ知識や情報の共有を図る。</p> <p>[校内研究授業実施回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7回以上</td> <td>6、5回</td> <td>4、3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	7回以上	6、5回	4、3回	2回以下											
A	B	C	D																	
7回以上	6、5回	4、3回	2回以下																	
地歴公民科	<p>生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的に進め、スキルアップに努める。</p> <p>・地歴公民科教員の授業力アップに向けて、公開研究授業を積極的に実施する。</p> <p>[公開・研究授業実施数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7件以上</td> <td>6、5件</td> <td>4、3件</td> <td>2件以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	7件以上	6、5件	4、3件	2件以下											
	A	B	C	D																
7件以上	6、5件	4、3件	2件以下																	
	<p>進路希望実現に向け、個に応じた指導を徹底し、全力で生徒をサポートする。</p> <p>・進路希望実現に必要な学力を養成するため、模擬試験結果の分析を計画的に実施する。</p> <p>[模擬試験分析会議の回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7回以上</td> <td>6、5回</td> <td>4、3回</td> <td>2回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	7回以上	6、5回	4、3回	2回以下											
A	B	C	D																	
7回以上	6、5回	4、3回	2回以下																	
数学科	<p>主体的な態度で学習に励む生徒を育成する。</p> <p>・授業を大切にする学習を推し進め、家庭学習指導等を通じて学習習慣と基礎学力の定着を図るとともに、主体的・積極的な数学活動の育成を図る。</p> <p>[校内数学コンテスト実施回数]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15回以上</td> <td>14回</td> <td>13回</td> <td>12回以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	15回以上	14回	13回	12回以下											
	A	B	C	D																
15回以上	14回	13回	12回以下																	
	<p>多様な希望進路に対応できる学力</p> <p>1年生：効果的な学習方法を指導し、基礎学力を</p>																			

	<p>を養成する。</p>	<p>徹底させる。 [第2回府立高校実力テスト数学60点以上]</p> <table border="1" data-bbox="907 172 1464 236"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>151人以上</td> <td>150～126</td> <td>125～100</td> <td>99人以下</td> </tr> </table> <hr/> <p>2年生：小テストや課題を通じて学力の点検・補充を行い、基礎学力の完成を図る。 [第2回府立高校実力テスト数学B 60点以上]</p> <table border="1" data-bbox="907 352 1464 416"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>131人以上</td> <td>130～121</td> <td>120～110</td> <td>109人以下</td> </tr> </table> <hr/> <p>3年生：センター試験対策演習やにじゼミ等によって、進路実現に必要な学力を充実させる。 [大学入試センター試験数学ⅠA 対全国平均]</p> <table border="1" data-bbox="907 560 1464 624"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8点以上</td> <td>7～4点</td> <td>3～0点</td> <td>平均以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	151人以上	150～126	125～100	99人以下	A	B	C	D	131人以上	130～121	120～110	109人以下	A	B	C	D	8点以上	7～4点	3～0点	平均以下			
A	B	C	D																										
151人以上	150～126	125～100	99人以下																										
A	B	C	D																										
131人以上	130～121	120～110	109人以下																										
A	B	C	D																										
8点以上	7～4点	3～0点	平均以下																										
	<p>学習意欲を高める指導の工夫改善を推進する。</p>	<p>・活発で効果的な教科指導が行えるように定期的な教科会議や校内研修によって教科内の意思統一を図る。 [校内研修を含む教科会議の実施回数]</p> <table border="1" data-bbox="907 767 1464 831"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>32回以上</td> <td>31、30回</td> <td>29、30回</td> <td>28回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	32回以上	31、30回	29、30回	28回以下																			
A	B	C	D																										
32回以上	31、30回	29、30回	28回以下																										
<p>理科</p>	<p>自然科学に興味・関心を持ち、主体的に学習する生徒を育成する。</p>	<p>・課題演習内容の質的向上に努め、学習習慣の定着と希望進路実現のための演習課題を確実にやりきらせる指導を継続的に行う。 [進学対策課題の提出率]</p> <table border="1" data-bbox="907 975 1464 1038"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>91%以上</td> <td>90%～81%</td> <td>80%～70%</td> <td>70%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	91%以上	90%～81%	80%～70%	70%未満																			
A	B	C	D																										
91%以上	90%～81%	80%～70%	70%未満																										
	<p>希望進路の実現に向け、確実な学力の定着と国公立2次試験に対応できる思考力を育成する。</p>	<p>・基礎学力の確実な定着（2年）と、希望進路の実現に必要な学力の育成（3年）に努める。 [センター試験の対全国平均点]</p> <table border="1" data-bbox="907 1150 1464 1214"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>8点以上</td> <td>7～4点</td> <td>3～0点</td> <td>平均以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	8点以上	7～4点	3～0点	平均以下																			
A	B	C	D																										
8点以上	7～4点	3～0点	平均以下																										
	<p>小教科の枠を超えて、指導内容や指導方法の研究・交流を積極的に推進する。</p>	<p>・授業研究、公開授業、模擬試験分析を定期的実施し、指導力の向上を図る。 [公開授業、研究授業の実施回数]</p> <table border="1" data-bbox="907 1326 1464 1390"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>11回以上</td> <td>10～8回</td> <td>7、6回</td> <td>5回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	11回以上	10～8回	7、6回	5回以下																			
A	B	C	D																										
11回以上	10～8回	7、6回	5回以下																										
<p>保健体育科</p>	<p>基本技能を習得し、体力の向上を図る。</p>	<p>・各種目において基本的な技能の習得とともに、体づくり運動に取り組むことで、体力の向上を</p>																											

		<p>図る。</p> <p>[スポーツテストにおけるD、E判定者の割合]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5%未満</td> <td>5～7%</td> <td>7～10%</td> <td>11%以上</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	5%未満	5～7%	7～10%	11%以上																		
A	B	C	D																									
5%未満	5～7%	7～10%	11%以上																									
	<p>生涯を通じて、運動を継続的に実践できる能力を養う。</p>	<p>・3年次の選択制体育において、計画的・継続的に運動を実践する姿勢を育てる。</p> <p>[3年次の授業評価]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.5以上</td> <td>4.4～4.2</td> <td>4.1～4.0</td> <td>4.0未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	4.5以上	4.4～4.2	4.1～4.0	4.0未満																		
A	B	C	D																									
4.5以上	4.4～4.2	4.1～4.0	4.0未満																									
	<p>健康・安全に関する事柄に興味・関心を持ち、科学的に思考・判断し、総合的にとらえる能力を養う。</p>	<p>・保健の課題学習において、生徒の興味・関心を引き出し、科学的に思考・判断する姿勢を育てる。</p> <p>[2学期保健（課題学習）の授業評価]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4.5以上</td> <td>4.4～4.2</td> <td>4.1～4.0</td> <td>4.0未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	4.5以上	4.4～4.2	4.1～4.0	4.0未満																		
A	B	C	D																									
4.5以上	4.4～4.2	4.1～4.0	4.0未満																									
	<p>運動部活動の活性化を図る。</p>	<p>・日常的な指導（勧誘）により、加入率を上昇させる。</p> <p>[運動部加入率]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>55%以上</td> <td>54%～50%</td> <td>49%～45%</td> <td>45%未満</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	55%以上	54%～50%	49%～45%	45%未満																		
A	B	C	D																									
55%以上	54%～50%	49%～45%	45%未満																									
芸術科	<p>芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めることにより、豊かな情操を養う。</p>	<p>・生徒の表現能力を高めるために校内・校外における発表・展示を行う。</p> <p>[展示発表回数]</p> <p><音楽></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p><美術></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table> <p>-----</p> <p><書道></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6回</td> <td>5回</td> <td>4回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	5回	4回	3回	2回	A	B	C	D	5回	4回	3回	2回	A	B	C	D	6回	5回	4回	3回		
A	B	C	D																									
5回	4回	3回	2回																									
A	B	C	D																									
5回	4回	3回	2回																									
A	B	C	D																									
6回	5回	4回	3回																									
英語科	<p>多様な希望進路に対応できる英語力を養成する。</p>	<p>・予習復習の徹底、日々の演習等の課題への取組、模試の復習を通じて、学力の向上を図る。</p> <p>[センター試験平均の対全国平均値]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>A</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>D</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36点以上</td> <td>35～26点</td> <td>25～16点</td> <td>15点以下</td> </tr> </tbody> </table>	A	B	C	D	36点以上	35～26点	25～16点	15点以下																		
A	B	C	D																									
36点以上	35～26点	25～16点	15点以下																									
	<p>実践的な言語能力の獲得に励む生</p>	<p>・実用英語技能検定の受検を奨励し、合格に向け</p>																										

	徒を育成する。	た助言や支援を行う。 [実用英語技能検定合格率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>51%以上</td> <td>50～41%</td> <td>40～30%</td> <td>30%未満</td> </tr> </table>	A	B	C	D	51%以上	50～41%	40～30%	30%未満											
A	B	C	D																		
51%以上	50～41%	40～30%	30%未満																		
家庭科	生徒の学習意欲を高める指導の工夫改善を積極的にすすめ、生活力向上につながる授業展開を目指す。	・フードデザインにおいては、食物調理技術検定を受検し、知識・技術の定着および向上を図る。 [検定合格率] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>100%</td> <td>80%</td> <td>60%</td> <td>40%以下</td> </tr> </table> <hr/> ・家庭基礎においては、体験・実習・視聴覚教材等を効果的に取り入れ、生活力向上につなげる。 [1クラスにおける実習・視聴覚教材利用回数] <table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>13回以上</td> <td>12回</td> <td>11回</td> <td>10回以下</td> </tr> </table>	A	B	C	D	100%	80%	60%	40%以下	A	B	C	D	13回以上	12回	11回	10回以下			
A	B	C	D																		
100%	80%	60%	40%以下																		
A	B	C	D																		
13回以上	12回	11回	10回以下																		
次年度への改善の方向性																					